学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1

・音楽Ⅰ、Ⅱで学んだ基礎をふまえつつ、一人一人の感性や音楽的技術を向上させるとともに、自由で創造的な表現に取り組みます。
　また、重唱、重奏、合唱、合奏に取り組み、他と協力して創り上げていく喜びを味わいます。
・音楽が、日々の学校活動や、生涯に渡って心の支えや励ましとなり、生きる力になることを願います。・

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深め、音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。

【思考力、判断力、表現力等】
音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている

【学びに向かう力、人間性等】
音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深める ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図ともっている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	イメージを持って豊かな声で歌い上げ	【歌唱】 浜辺の歌 Sento nel core	a:楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌おうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	リコーダーアンサンブルに挑戦！	【器楽】	a:様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏しようとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、曲の内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	本格的な箏曲に挑戦しよう	【器楽】 本格的な箏曲に取り組み、日本の伝統楽器の種類や音質、演奏の仕方や扱い方などを学習する。 日本の伝統音楽を鑑賞して、日本音楽の良さ、美しさを感じる。	a:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身につけ、創造的に表現している。また、箏の読譜を正しく理解し、楽譜に表わすことができる。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	コーラスアンサンブルを楽しもう	【歌唱】 Oh Happy Day	a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声・言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表わしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	クラシック音楽に親しもう	【鑑賞】 バロック期 古典期 ロマン派 近現代 それぞれの時代を代表する曲を鑑賞する。	a:クラシック音楽の文化に興味をもち、時代の文化や背景、他芸術との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度